

別記様式

隨 意 契 約 結 果 書

件名及び数量	北部国道事務所管内道路ニーズ調査業務
契約担当官等の氏名並びに所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官沖縄総合事務局 北部国道事務所長 高良保英 (名護市大北4丁目28番34号)
契約締結日	平成17年 9月28日
契約の相手方の氏名及び住所	(社)沖縄建設弘済会 沖縄県浦添市勢理客4-18-1
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	5,985,000円
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	6,205,500円
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
備考	

- 注) 1. 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
 2. 予定価格を公表しないこととした場合、予定価格の欄には「非公表」と記載する。

随意契約理由書

1. 業務名 北部国道事務所管内道路ニーズ調査業務

2. 履行場所 北部国道事務所

3. 契約の相手方 名称 社団法人 沖縄建設弘済会

住所 沖縄県浦添市勢理客4-18-1

4. 隨意契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号

5. 当該業務の目的・内容及び随意契約の理由

(1) 目的・内容

陸上交通の多くを道路に依存している本県では、県内の自動車保有台数も年々上昇を続ける一方であり、1キロ当たり渋滞損失額に至っては全国でも上位に位置している。

このような環境下で、自動車ドライバーや歩行者など道路を利用する人が、どのような不満を感じているのか、といった利用者意識について、行政が広く積極的に調べ、事業に反映しようとする取り組みは不十分であった。

こうした反省のもと、平成15年度より道路利用者のニーズの把握と対話をを行い、道路整備の優先順位等を明らかにし、道路事業に反映させてきた。今後も継続的に道路利用者との対話を続け、過年度業務により把握された指摘箇所についても、該当する関係機関と委員会形式で今後の対応方針等を検討し公表を行っていくことにより、結果として道路利用者の満足度の向上を図るものである。

(2) 理由

今年度は過年度指摘箇所のフォローアップを行う為、過年度に実施された業務と深く関係する業務で既に実施された業務の履行にあたり参照した情報・履行の経緯、関係者の事情等の詳細を熟知する必要がある。さらに、フォローアップにあたっては、関係機関との調整及び委員会、グループインタビューの運営・道路利用者のニーズの集約等、行政行為の補助に係わる業務で、当該業務に係わる特定の経験及び知識を有する者であり、かつ、高度な秘密義務を求める者に契約の相手が特定される。

(社)沖縄建設弘済会は、沖縄の建設事業の円滑な推進を図り、もって国土開発の発展に寄与することを目的に設立され、建設事業に関する幅広い業務の受託事業を行っており、当所発注の業務に関しては多種にわたり携わり、高度な専門知識や実績を持った数多くの技術者を有しており、かつ、本県における道路行政問題を熟知している唯一の法人である。また、過年度業務において、当該業務を請負っており、本業務を履行するにあたり十分な経験を有している。

以上の理由より、本業務の円滑かつ効率的な遂行に高い水準の調査業務を期待できる(社)沖縄建設弘済会と会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号に基づき随意契約を行うものである。